

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 27 年 5 月 7 日現在

機関番号：32638

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24720191

研究課題名(和文)中国語前置詞フレーズを巡る語順問題に関する体系的研究

研究課題名(英文)A Systematic Study regarding Word Order of Prepositional Phrases in Chinese

## 研究代表者

平山 邦彦(HIRAYAMA, KUNIHICO)

拓殖大学・外国語学部・准教授

研究者番号：30384704

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)：通常、中国語の前置詞フレーズを用いた語順は「主語+前置詞フレーズ+動詞/形容詞」と表現されるが、不規則なパターンも少なからず見ることができる。本研究では、この種の現象を切口とし中国語前置詞フレーズを用いた語順表現について分析を加えていった。その結果、その語順表現の背後に貫かれたルールを幾つか発見することができた。この成果は、中国語の文法研究や語順研究、更には教育の場においても大きく役立つものとなるだろう。

研究成果の概要(英文)：Generally speaking, it is said the principle regarding word order in sentences with prepositional phrases can be represented as "subject + prepositional phrase + verb / adjective". However, we can find there are a lot of irregular patterns in it. This research has analyzed the word order involving prepositional phrases, focusing on those irregular patterns. As a result, we have found several principles behind the word orders, and our findings must be of great use not only to the study of grammar and word order in Chinese, but also to the teaching of Chinese.

研究分野：現代中国語文法

キーワード：中国語 現代中国語文法 “比”構文 前置詞 前置詞フレーズ 語順 語順原則

1. 研究開始当初の背景

本研究では、**中国語前置詞フレーズを巡る語順問題**について分析を加えていった。本研究を進める上での背景は次の通りである。

一般的に文法書や参考書で、中国語の語順を説明する場合、次のような説明がなされる(下の「**前置詞** + **名詞**」を前置詞フレーズという)。

主語 + **前置詞** + **名詞性語句** + 動詞/形容詞。

我 在 这儿 吃饭。  
(私はここでご飯を食べる)

这个 **比** 那个 好。  
(これはあれより良い)

原則的にはかくの如くであるが、中国語の前置詞も細かく観察すれば、そのふるまい方にも個々の差異(規則に当てはまらない例外)が存在する。それらに対する解明を行なうことは、我々外国人話者の中国語に対する理解、そして運用力の向上に役立つことは間違いない。この考えに基づき、本研究課題においては興味を感じるテーマを中心とし、以下の3点を調査対象として設定した。

(1) 中国語領属関係を表わす“比”構文(“X 的 N 比 YW” “XN 比 YW” “X 比 YNW”)における X/Y と N を巡る語順。

この項目は、研究テーマ全体の出発の動機となった内容である。領有関係を表わす比較文については、本研究では X 及び Y と N の間に何らかの領有関係が存在する“比”比較文と定義した。(“比”は比較を表す前置詞である。「より」という意味を表わす。“的”は中国語で「~の」という意味を表わす。

[ 1 ] X 的 N 比 YW (他的年纪比我大)  
X の N は Y より W  
(彼の年齢は私より上だ)

[ 2 ] X N 比 Y W (他年纪比我大)  
X は N が Y より W  
(彼は年齢が私より上だ)

[ 3 ] X 比 Y NW (他比我年纪大)  
X は Y より N が W  
(彼は私より年齢が上だ)

上の [ 1 ] 形式に関しては、朱德熙 1982

《语法讲义》、马真 1986 《“比”字句新探》等早期から注目を浴びた内容である。

一方、研究代表者が申請時コーパス調査を行ったところでは、[ 1 ][ 2 ] 形式のみならず、前置詞フレーズのモデル形式から逸脱した [ 3 ] 形式の使用頻度も、決して低くないことが確認されてきた。よって、日本人話者の中国語習得及び教育という観点から見れば、[ 2 ][ 3 ] 形式の成立状況、選択条件等に関する解明は、[ 1 ] に対する状況と同様、必要事項と考えられた。

(2) 中国語前置詞フレーズ(前置詞 + 名詞性語句)の位置問題。

中国語の前置詞フレーズの語順に関しては、冒頭に触れた通り、「主語 + **前置詞** + **名詞性語句** + 動詞/形容詞」という基本語順となる。それに対し「**前置詞** + **名詞性語句** + 主語 + 動詞/形容詞」という語順が可能となるもの、不可能となるものが双方存在する(\*は不成立を表わす)。

・ 我对历史不感兴趣。  
(私は歴史に興味がない)

对历史, 我不感兴趣。  
(歴史に私は興味がない)

・ 这个比那个好。  
(これはあれよりよい)

\*比那个, 这个好。  
(あれより、これがよい)

以上のように、中国語では日本語と比べ語順変換に制限を見ることが出来る。この点に対する解明も、前置詞分析及び中国語教育において大きな貢献を成すと考え研究の対象とした。

(3) 前置詞フレーズ運用に関する許容度と選択の傾向性、それに対する認知的要因

上のテーマについて、考えて見る時日本語でも、「公園で彼と待ち合わせをする」における「公園で」「彼と」のように前置詞フレーズに対応する助詞表現の複数用いられた状況を見ることが出来る。同様に、中国語に

においても前置詞フレーズの複数用いられた形式は見ることができる。

・我以前在这儿跟他见过面。

(私は以前ここで彼に会ったことがある。)

我以前跟他在这儿见过面。

(私は以前彼にここで会ったことがある。)

・用开水把餐具消毒了一下

(お湯で食器をちょっと消毒した)

?把餐具用开水消毒了一下

(食器をお湯でちょっと消毒した)

以上の如く、中国語における前置詞フレーズの連用における語順の入れ替えは日本語と比べると制約を受けやすくなる。この種の語順問題に関しては陸丙甫 2004 (『共性探索北京下的汉语句法研究 谈谈如何从个性中分解、提取共性规律』『语言学论丛』第三十辑)、朱军 2009 (『现代汉语受事宾语句中论元共现规律及管控机制研究』等断片的に扱ったものは散見されるが、体系的に扱った研究は多くは見る事ができていない。この点に対する解明も、前置詞分析及び中国語教育において大きな貢献を成すと考え、考察対象に設定した。

## 2. 研究の目的

本研究では、研究の背景で示した次の点に関して解明していくことを目的とした。

(1) 中国語領属関係を表す“比”構文(“X 的 N 比 YW”“XN 比 YW”“X 比 YNW”)における X/Y と N を巡る語順に関する成立条件、構文的特徴、分布状況に対する異動点を観察し詳細且つ綿密な分析を加えることにした。更には、一連のプロセスを通して、各種“比”構文の成立条件、選択状況等を調査し、その背後に貫かれた諸法則について言語学的分析を加えていくことを目指していった。

(2) 中国語前置詞フレーズ(前置詞+名詞性語句)の位置選択に許容性と傾向性に対し

る解明を試みた。即ち前置詞フレーズは「主語+前置詞+名詞性語句+動詞/形容詞」を基本語順とするが、「前置詞+名詞性語句+主語+動詞/形容詞」をとるものも存在する。この点に関して、代表的な前置詞(“在”“对”“从”“把”“用”“给”等)をサンプルとし、成立状況、コーパスにおける選択状況等を調査し、その背景に貫かれた諸法則に対する言語学的分析を加えることを目指した。

(3) 前置詞フレーズ連用に関する許容度と選択の傾向性、それに対する認知的要因について解明を目指した。この点に関しては、代表的な前置詞(“在”“对”“从”“把”“用”“给”等)をサンプルとし、成立状況、コーパスにおける選択状況等を調査し、その背後に貫かれた諸法則について言語学的分析を加えたいと考えた。

また、一連の研究を通して次の点に意義づけを持ち、研究を進めていった。

前置詞フレーズを巡る語順問題に対して体系的に詳細な分析を加えていく。

上の に挙げた内容の解明を通して、**日本語或いは他言語における前置詞フレーズ研究、対照研究に関する大きな一助**としていく。更には「**言語類型論**」分野に対する貢献を成していく。

上の で解明された内容を通して、辞書や参考書等への反映という**教育面における展開**を成していく。

## 3. 研究の方法

(1) **参考書や北京作家による作品を中心としてコーパスデータの収集**: 研究目的で示した前置詞フレーズに関して、例文収集を行った。作例や共通語の規範に近い北京作家の作品や参考書(主に辞書資料)を中心に行っていた。

(2) **インフォーマントチェック**: 採集した例文や例文に対して、随時インフォーマントを行い、成立度を確認していった。

(3) **文献資料のデータ化**: コーパスデータや、インフォーマントチェックから上がってきたデータに関して、言語学的分析を加えることを目指していった。その為には、移動しながらでも大量の文献を読み込める

必要性が存在した。その為の環境づくりの一環として、手元にある大量の文献に対し電子書籍化を行った。

(4) **実例に基づく言語学的分析**：以上、収集された例文データをもとに、言語学理論（主に認知言語学と語順類型論）的な観点を持ち込み、**理論的分析**を加えていった。

#### 4. 研究成果

この期間における研究は、「研究の目的」で示した(3)まで至ることができなかった。その分、「研究の目的」(1)(2)で示した内容を深める形となって。即ち、この期間の成果は大きくまとめると次の通りになる。

(1) 中国語の領属関係を表す“比”構文〔1〕“X的N比YW”、〔2〕“XN比YW”、〔3〕“X比YNW”（それぞれ日本語訳すると「XのNはYよりW」「XはYよりNがW」「XはYよりNがW」となる）におけるX/YとNを巡る語順問題」という部分に焦点を当てて研究を進めていった。その成果としては、次の2点が大きな軸となる。（ ）上に示した各種“比”構文は、X/Yの支配領域におけるNの顕著性とX/YとNによる「全体-部分」関係を有する（この点については「5. 主な発表論文等」で記した『试谈汉语“领属‘比’字句”——以转喻格式为对象』、谈汉日比较句“他比我年纪大”和“彼は私より年齢が上だ”』として学会発表、『中国語の領属性“比”構文について』、『谈主谓谓语句以“他比我年纪大”类“比”字句为切入点』、『论“他的年纪比我大”类的“比”字句』として論文発表）。（ ）これらの特徴や選択条件等の際はNの顕著性や属性的特徴の顕現度合の際が重要な要素となる（この点については「5. 主な発表論文等」で記した『试谈“X的N”“的”字短语以“比”字句的句型为切入点』、『谈“比Y”介词短语的语序问题』として学会発表、『“比Y”介词短语の語順に関する一考察——“X比YNW”タイプを切口として』として論文発表）。

(2) 前置詞フレーズを巡る語順問題。中国語

の前置詞は一般的に「主語+前置詞フレーズ〔前置詞+名詞〕+動詞/形容詞」という語順で示される（例：我在这儿吃饭[私はここでご飯を食べる]、这个比那个好。[これはあれより良い]）。しかし、実際には、前置詞フレーズが主語の前後に置かれるのかという点については、次の三種のパターンが存在する。（ ）前置詞フレーズが主語の後方にしか置くことができない（例：我刚从农村归来[私は農村から帰ってきたばかりです]/\*从农村，我刚回来）。（ ）前置詞フレーズを主語の前後に置くことができる（例：小王在饭店给她打了电话[王さんはホテルで彼女に電話をかけました]/\*在饭店，小王给她打了电话[ホテルで、王さんは彼女に電話をかけました]）。（ ）前置詞フレーズが主語の前方にしか置くことができない（例：\*我关于中国历史知道得多/关于中国历史，我知道得多[中国の歴史について、私はずっと知っています]）。この点について、本研究では前置詞フレーズと動詞/形容詞との関係性等個別に調査していった。その結、前置詞フレーズの“可別度”の大きさが認識されるほど主語の前に置かれやすくなり、逆にそれが小さくなると主語の後に置かれやすくなることが確認された。言わば、その背景には“可別度領前原理”が大きく働いているという結論に至った（この点については「5. 主な発表論文等」で記した『关于介词短语状语句的语序问题』として学会発表、研究期間終了後に論文として発表予定）。

以上が、この研究で得た結果は、中国語の前置詞研究、或は中国語語順原則を解明する上で大きな寄与を果たすことが予想される。更には、前置詞フレーズは中国語教育においても重要な項目である。この点においても、寄与する部分の少なくないだろう。

5. 主な発表論文等  
（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計4件)

平山邦彦、论“他的年纪比我大”类的“比”字句、汉语学习、査読有、第3期、2014、pp.51 - 57

平山邦彦、“比Y”介詞フレーズの語順に関する一考察 “X比YNW”タイプを切口として、拓殖大学 語学研究、査読有、第131号、2014、pp.95 - 119

平山邦彦、谈主谓谓语句 以“他比我年纪大”类“比”字句为切入点、汉语语法研究的新拓展、査読有、第6集、2013、pp.102 - 114

平山邦彦、中国語の領属性“比”構文について、拓殖大学 語学研究、査読有、第129号、2013、pp.97 - 119

[学会発表](計5件)

平山邦彦、关于介词短语状语句的语序问题、The 22nd Annual Conference of the IACL & the 26th North American Conference on Chinese Linguistics、2014年5月4日、メリーランド(アメリカ)

平山邦彦、谈“比Y”介词短语的语序问题、第七届现代汉语语法国际研讨会、2013年12月22日、シンガポール(シンガポール)

平山邦彦、试谈“X的N”“的”字短语以“比”字句的句型为切入点、第17次现代汉语语法学术讨论会、2012年10月14日、上海(中国)

平山邦彦、试谈汉语“领属‘比’字句”——以转喻格式为对象、The 20th Annual Meeting of the International Association of Chinese Linguistics (IACL-20)、8月31日、香港(中国)。

平山邦彦、谈汉日比较句“他比我年纪大”和“彼は私より年齢が上だ”、第四届汉日对比语言学研究会、2012年8月19日、長沙(中国)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

平山 邦彦 (HIRAYAMA, Kunihiko)

拓殖大学・外国語学部・准教授

研究者番号：30384704